



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社

上場取引所 東

コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 秀和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 岡田 一男

TEL 03-3345-6111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	9,530	△24.9	150	△85.9	31	△96.6	26	△95.5
28年6月期第2四半期	12,682	0.9	1,072	644.4	911	—	581	—

(注)包括利益 29年6月期第2四半期 74百万円 (△87.4%) 28年6月期第2四半期 588百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	1.97	1.92
28年6月期第2四半期	44.10	42.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第2四半期	29,795	6,590	21.9	483.80
28年6月期	26,802	6,740	24.9	447.87

(参考)自己資本 29年6月期第2四半期 6,516百万円 28年6月期 6,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	17.00	17.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,170	24.7	1,699	△1.5	1,312	△2.1	992	5.1	74.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期2Q	13,468,600 株	28年6月期	13,379,800 株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	76 株	28年6月期	76 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期2Q	13,452,330 株	28年6月期2Q	13,193,324 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]2ページの[1.当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明]をご覧ください。なお、当社は純粋持株会社であり、その業績の殆どがグループ間での内部取引によるものとなるため、個別業績及び個別業績予想の開示は省略いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外の政治的要因により大きな影響を受けましたが、わが国の金融緩和と財政出動が継続したこともあって、底堅く推移しました。

当社グループが属する不動産業界におきまして、新築マンション市場は、平成28年12月の首都圏の新築マンション契約率が76.6%（出所：株式会社不動産経済研究所の「首都圏のマンション市場動向」）と、好不調の目安となる70.0%を上回りましたが、平成28年の年間契約率は68.8%となっております。

これに対して、新築戸建市場は、都心近郊を中心に、底堅く推移し、比較的好調に推移しております。

このような状況下、当社グループは、マンション事業において、利便性の高い駅近物件を慎重に仕入れ、実需に応じたコンパクトマンション等、多様化するお客様のニーズに対応したデザイン性の高い高品質な家づくりに取り組ましました。

また、戸建事業におきましては、これまでの建売住宅に加え、多棟現場においてモデル棟を先行して建設し、定額制規格住宅「HOUSTYLE（ハウスタイル）」の販売を推進する等、よりニーズの高い上質な住宅の受注に力を入れました。

新規事業としましては、年々増加するインバウンド需要が見込まれる京都市内や上野エリアにおけるホテル開発に積極的に取り組ましました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高9,530百万円（前年同期比24.9%減）、営業利益150百万円（前年同期比85.9%減）、経常利益31百万円（前年同期比96.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益26百万円（前年同期比95.5%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。なお、売上高の金額につきましては、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ茅ヶ崎」「ウィルレーナ西ヶ原」等、合計83戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高6,236百万円（前年同期比18.2%減）、営業利益462百万円（前年同期比52.1%減）となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「町田市大蔵町プロジェクト」、「さいたま市南区大谷ロプロジェクト」、「横浜市鶴見区東寺尾東台プロジェクト」等、分譲47戸、請負工事30戸、計77戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高2,831百万円（前年同期比37.0%減）、営業損失42百万円（前年同期は62百万円の利益）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部23物件66戸、東京都下8物件62戸、神奈川県6物件76戸、埼玉県6物件11戸、千葉県1物件1戸、合計44物件216戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高438百万円（前年同期比38.5%増）、営業損失2百万円（前年同期は303百万円の利益）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、平成28年12月31日現在のマンション管理戸数が前期末に比べ132戸増加し、3,200戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高207百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益33百万円（同75.6%増）となりました。

[その他]

その他としましては、ゴルフ練習場運営等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高26百万円（前年同期比32.6%減）、営業利益1百万円（同62.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,993百万円増加し、29,795百万円となりました。負債については前連結会計年度末から3,143百万円増加し、23,204百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から149百万円減少し、6,590百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、現金及び預金が1,405百万円減少、仕掛販売用不動産が2,837百万円増加、及び販売用不動産が1,430百万円増加したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が3,655百万円増加、買掛金が432百万円増加、前受金が532百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が200百万円減少したことによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,583百万円減少し3,786百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益27百万円を計上した一方、法人税等の支払額241百万円、たな卸資産の増加額4,339百万円、仕入債務の増加額432百万円を主要因として、4,814百万円の支出(前年同期比350.1%増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出74百万円、長期貸付けによる支出146百万円、差入保証金の差入による支出41百万円を主要因として、259百万円の支出(前年同期は15百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入7,045百万円、長期借入金の返済による支出3,074百万円、配当金の支払額214百万円を主要因として、3,434百万円の収入(前年同期比526.9%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の連結業績予想につきましては、平成28年8月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,517,756	4,112,123
売掛金	55,425	15,134
完成工事未収入金	164,314	153,097
販売用不動産	5,144,489	6,574,921
仕掛販売用不動産	13,646,243	16,483,346
前払費用	535,721	439,953
繰延税金資産	52,373	135,582
その他	515,995	600,843
流動資産合計	25,632,319	28,515,003
固定資産		
有形固定資産	243,580	225,838
無形固定資産	22,627	18,028
投資その他の資産		
投資有価証券	357,087	409,398
破産更生債権等	132,539	132,439
関係会社長期貸付金	—	298,019
その他	546,440	329,518
貸倒引当金	△132,539	△132,439
投資その他の資産合計	903,527	1,036,936
固定資産合計	1,169,735	1,280,803
資産合計	26,802,055	29,795,807
負債の部		
流動負債		
買掛金	622,925	1,055,792
短期借入金	4,688,586	4,571,303
1年内返済予定の長期借入金	4,844,321	7,133,307
1年内償還予定の社債	315,600	215,600
未払金	208,954	145,552
未払法人税等	264,019	105,158
未払消費税等	104,984	11,892
前受金	990,685	458,303
賞与引当金	13,973	11,920
その他	207,035	106,203
流動負債合計	12,261,086	13,815,033
固定負債		
社債	509,400	401,600
長期借入金	7,189,967	8,881,768
繰延税金負債	12,315	22,421
その他	88,923	84,174
固定負債合計	7,800,606	9,389,964
負債合計	20,061,692	23,204,998

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	392,736	394,379
資本剰余金	1,338,965	1,340,608
利益剰余金	4,914,859	4,714,105
自己株式	△33	△33
株主資本合計	6,646,527	6,449,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,651	53,689
為替換算調整勘定	5,395	13,270
その他の包括利益累計額合計	19,046	66,960
新株予約権	74,788	74,788
純資産合計	6,740,363	6,590,808
負債純資産合計	26,802,055	29,795,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	12,682,509	9,530,303
売上原価	9,947,864	7,734,938
売上総利益	2,734,645	1,795,364
販売費及び一般管理費	1,661,732	1,644,610
営業利益	1,072,913	150,754
営業外収益		
受取利息	1,228	837
受取手数料	7,484	10,604
解約精算金	13,590	3,250
為替差益	—	52,257
その他	12,882	15,471
営業外収益合計	35,186	82,421
営業外費用		
支払利息	131,160	155,598
持分法による投資損失	635	—
支払手数料	32,591	40,472
為替差損	18,927	—
その他	13,346	5,862
営業外費用合計	196,662	201,933
経常利益	911,437	31,242
特別利益		
関係会社株式売却益	532	—
固定資産売却益	212	—
特別利益合計	745	—
特別損失		
固定資産除売却損	4	3,623
その他	—	300
特別損失合計	4	3,923
税金等調整前四半期純利益	912,178	27,318
法人税、住民税及び事業税	323,762	94,579
法人税等調整額	6,585	△93,718
法人税等合計	330,348	860
四半期純利益	581,830	26,457
親会社株主に帰属する四半期純利益	581,830	26,457

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	581,830	26,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,562	40,038
為替換算調整勘定	5,382	7,875
その他の包括利益合計	6,944	47,913
四半期包括利益	588,774	74,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	588,774	74,370

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	912,178	27,318
減価償却費	26,901	23,282
賞与引当金の増減額(△は減少)	△133	△2,053
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,785	△100
受取利息及び受取配当金	△2,850	△1,873
支払利息	131,160	155,598
為替差損益(△は益)	18,927	△58,943
持分法による投資損益(△は益)	635	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	△208	3,623
売上債権の増減額(△は増加)	△37,142	51,508
たな卸資産の増減額(△は増加)	△245,050	△4,339,957
前払費用の増減額(△は増加)	67,961	85,867
長期前払費用の増減額(△は増加)	634	279
関係会社株式売却損益(△は益)	△532	—
未収消費税等の増減額(△は増加)	△49,064	61,286
仕入債務の増減額(△は減少)	△694,833	432,866
未払金の増減額(△は減少)	△144,102	△95,251
未払消費税等の増減額(△は減少)	△149,632	△93,092
未払費用の増減額(△は減少)	△98,704	△79,851
前受金の増減額(△は減少)	△40,439	△532,382
預り金の増減額(△は減少)	△8,260	△20,450
その他	△226,073	△50,330
小計	△540,412	△4,432,655
利息及び配当金の受取額	2,850	1,873
利息の支払額	△120,468	△142,898
法人税等の支払額	△411,780	△241,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,069,809	△4,814,997

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	15,720	9,920
定期預金の預入による支出	△26,360	△74,850
長期貸付けによる支出	—	△146,060
有形固定資産の売却による収入	222	2,648
有形固定資産の取得による支出	△774	—
差入保証金の回収による収入	43,598	13,009
差入保証金の差入による支出	△34,679	△41,812
出資金の払込による支出	△160	—
保険積立金の積立による支出	△2,164	△2,150
関係会社株式の売却による収入	3,710	—
投資有価証券の取得による支出	—	△16,074
ゴルフ会員権の取得による支出	△14,520	△4,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,407	△259,489
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	130,840	△117,009
長期借入れによる収入	5,122,724	7,045,850
長期借入金の返済による支出	△4,578,478	△3,074,274
社債の発行による収入	98,375	—
社債の償還による支出	△40,000	△207,800
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	3,285
リース債務の返済による支出	△741	△741
配当金の支払額	△184,779	△214,334
財務活動によるキャッシュ・フロー	547,942	3,434,976
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,134	56,325
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△545,409	△1,583,184
現金及び現金同等物の期首残高	4,367,558	5,369,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,822,148	3,786,222

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マンション 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,621,793	4,496,485	337,375	188,232	12,643,887	38,622	12,682,509	—	12,682,509
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	375,555	530	376,085	—	376,085	△376,085	—
計	7,621,793	4,496,485	712,931	188,762	13,019,973	38,622	13,058,595	△376,085	12,682,509
セグメント利益	965,600	62,275	303,707	19,002	1,350,585	5,137	1,355,723	△282,809	1,072,913

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△282,809千円には、未実現利益の調整額等2,484千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△285,293千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マンション 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,236,679	2,831,818	231,557	204,216	9,504,272	26,030	9,530,303	—	9,530,303
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	207,026	3,728	210,754	—	210,754	△210,754	—
計	6,236,679	2,831,818	438,583	207,945	9,715,027	26,030	9,741,058	△210,754	9,530,303
セグメント利益 又は損失(△)	462,205	△42,090	△2,379	33,372	451,108	1,940	453,048	△302,294	150,754

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△302,294千円には、未実現利益の調整額等185千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△302,479千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。